

関西学院高等部アメリカ英語研修旅行
～創立 125 周年記念 USN 校訪問、W.R.ランバスの足跡を巡る旅～
2014 年 8 月 29 日(金)～9 月 7 日(土)



Daniel H. Dellming(高等部宣教師)

今年度の高等部夏期英語研修旅行では、石森圭一部長、理科の富永浩史教諭と私、そして高等部生 12 名で、アメリカの首都 Washington D.C.とテネシー州 Nashville を訪問した。

Washington, D.C.では、アーリントン軍人墓地、キング牧師が演説をしたリンカーンメモリアル、ホワイトハウスの見学、そしてスミソニアン博物館に行った。過密スケジュールではあったが、独立戦争、南北戦争や、ベトナム及び朝鮮戦争についても学び、アメリカの歴史や文化、世界観について知識を深めると同時に、関西学院創立者 Walter Lambuth の足跡を辿る機会となった。

ウィリアム W. ピンソン著の伝記によると、Walter は 1854 年 11 月 10 日に宣教師の親の元に上海で生まれたが、1859 年の秋に母親の Mary【写真左】と共に米国行き 109 日間の旅に出た。妹 Nettie と中国人の男の子 2 人も一緒であった【写真下、Walter(右)と Nettie(中央)】。一行は 1860 年の年明けにアメリカに着き、同年の春に母親は一人で中国にいる父の元に戻り、Walter と妹の Nettie は Cambridge, New York にいる母方の祖父母の家に残された。

1861 年 3 月に Abraham Lincoln が大統領に就任し、4 月には南北戦争が始まった。同年に Walter の両親はアメリカに戻り、1863 年に一家は父方の祖父母の住む南部の Jackson, Mississippi にいたとピンソンは記している。

南北戦争の最中、Walter はまだ子どもだったが、複雑な気持ちであったのは間違いない。北部には母方の祖父母、南部には父方の祖父母がいただけでなく、母方の親戚が北部の連合軍の指導者の一人でもあったからだ。また戦争中に、猩紅熱で妹 Nettie が神様の御元に召される。この別れもまた Walter を深く揺さぶったに違いない。

南北戦争は 1865 年の 4 月まで続いたが、終戦の 1 年以上前に、一家は中国を目指して旅立った。南部の Mississippi から北部の New York まで、数ヶ月かけて雪の中や泥道を牛車などでゆっくり進んだ。北部の連合軍が南部の鉄道や Mississippi 川を制圧しており、また馬も戦争に使われていたため、交通手段が他に無かったからである。

今回の研修旅行では特に、奴隷制度に反対した Lincoln 大統領のモニュメントを背後に、キング牧師が“I have a dream”の演説をしたことの歴史的な意味を感じさせられた。また、アーリントン軍人墓地が、元々は敗北した南部の司令官の所有地であったことも印象的であった。



Nashville では 26 年以上交流のある、高等部提携校 University School of Nashville (USN) を訪問し、ホームステイや交流会及び授業体験のプログラムを満喫した。

また、世界遺産である Mammoth Cave 国立公園で大自然に触れる経験もした。肌寒い洞窟の中は巨大な空間や狭いトンネルがあり、2 時間のハイキングで、450 階段を上り下りした。伝記には、チャレンジ精神の旺盛だった Walter Lambuth も大学在学中に洞窟を探検していたとの記述もあり、ここでも Walter の人生について思いを馳せた。

Nashville で迎えた日曜日には、Woodbine 教会の礼拝に出席した。教会の牧師と、歴史担当の方の話によると、教会の建つ土地は、昔は農場だったそうだ。当時 19-20 歳の青年達が集まり聖書を勉強しているうちに、その地に教会を建て、周りの人はもちろん、世界の人に神の愛を伝えたいという思いを持つようになった。そのうちの一人であった農場経営者の娘が、「教会を建てるのに必要な資金の半分を集めることができれば、残りの資金とその土地を無料で提供してほしい」と父親に直接交渉した。結局青年達は目標としていた額を集めることができなかったが、彼らが地元の家々を回り献金を募る姿を見て、父親は土地を提供するだけでなく、



教会建築の資金の全面補助も申し出た。青年達の熱心な活動と、農場経営者の惜しみない支援で建てられた教会の初代牧師が Walter Lambuth である。



The original Woodbine Methodist Church in Nashville



McKendree Church

Nashville では、もうひとつ教会を見学した。ダウンタウンにある McKendree 教会である。1877 年 8 月 2 日、Walter は Daisy Kelley とここで結婚式を挙げた。それは、花嫁の父が牧師を務めた教会で、1876 年に自身が副牧師となった教会でもあった。挙式の 2 ヶ月後、若い二人は San Francisco から中国に旅立った。

さらに、Walter が神学と医学を学んだ Vanderbilt 大学を訪問した。昨年 10 月、関西学院同窓会が企画された「W. R. ランバス博士の足跡を巡る旅～アメリカ南部編～」の皆さんがお世話になった Lyle Lankford さんは既に退職されていたが、今回も私たちのために特別なキャンパスツアーをしてくださった。こうして、多くの方々の協力を得て、Walter Lambuth の足跡を辿る旅を無事終えることができた。



現在の Woodbine 教会の前で、USN 校の Ms. Betty White (右から 2 人目) と共に。White 先生は関西学院創立 100 周年の時に高等部で英語を担当されており、USN と高等部の交流に 26 年間尽力されてきた。右端は石森圭一高等部長。富永浩史教諭は左から 5 人目(後列)。筆者は右から 6 人目(後列)。